

「復興農学会」事務局会議（第40回）議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2021年11月24日（水）17時30分～18時35分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、杉野 弘明（同）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、安達 俊輔（東京農工大学）、小倉 振一郎（東北大学）、内田 修司（福島高専）、新田 洋司（福島大学）、石井 秀樹（同）、横山 正（同）
（敬称略）

議事録

1. 学会誌・編集委員会関係について（横山、安達）

(1) 第3号編集状況について

横山 特任教授より、現在、2報の審査が進んでおり、著者が修正中であること、3名の会員に執筆を依頼していることが報告された。石井 准教授より、葛尾村長、飯館村長のインタビュー記事は、現在、内容を確認中であることが報告された。また、学生が論文の投稿を予定しているとの情報があり、投稿されるのを待ち、投稿されれば審査を迅速に進めることが確認された。

(2) J-STAGE への登録について

安達 准教授より J-STAGE への登録を進めていること、登録するための条件はクリアしていて問題はないこと等について報告があった。

2. 講演会の開催について（新田、横山）

新型コロナウイルス感染症の拡大がおさまりつつあり、会議や会合等が対面で実施されるようになってきたこともあって、講演会等の今後の開催について審議した。

その結果、卒業論文、修士論文等の成果がまとまり発表しやすい時期であることから、初回は2022年3月が適当とのこととなった。3月18日（金）に、今回はWebで開催することとなった。

また、講演要旨について、講演会で発表後、学会誌に転載が可能になることに加え、以降の論文化の際、論文がオリジナリティを有するようにするため、講演要旨では詳細な記載は避けた方がよいこと等から、講演要旨はタイトル（和文、英文）等を含めてA4判1ページ以内とすること等が了承された。なお、講演要旨の様式（スプレッドシート、テンプレートなど）等については、杉野 助教、横山 特任教授が検討することとなった。

3. その他

(1) 日本農学賞受賞候補者の推薦について（新田）

新田より、推薦書類は農村計画学会が原案を作成したのち新田が確認し、学会長印を押印後、農村計画学会に送付したこと（11月22日）、農学会の締め切りは11月30日であることが報告された。

(2) 福島大学「復興知」事業関係のご案内（新田・横山）

新田より、下記のとおり、福島大学の「復興知」事業の開催案内があった。

・11月29日（月）16時30分 福島フォーラム

林 薫平 准教授（農林資源経済論）が話題提供。Web 配信。

・12月2日（木）13時30分 「大熊町分科会」

大阪大学、長崎大学、東京大学、立命館大学、福島大学。シンポジウム開催。福島大学からは大熊町営農再開ビジョン策定委員会委員長 深山 陽子 准教授が話題提供。Web 配信。

(3) 復興庁の「国際教育研究拠点」資料について（溝口）

溝口 教授より、復興庁が公開している「国際教育研究拠点の検討状況」資料の「農林水産分野の研究テーマのイメージ」（農水省提出資料）について、「きわめて平凡なものであり、福島でなくてもできるものである。福島農林水産業の復興に貢献できるものではない。については、復興農学会で復興庁にたいして意見を申し述べてはどうか？」との提案があった。

復興推進委員会（第38回）（2021年11月18日）の「資料1-1 国際教育研究拠点の検討状況」

<https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat7/sub-cat7-2/20211111115715.html>

審議の結果、復興農学会として復興庁に意見を申し述べるのが適当とのこととなった。については、生源寺 会長に相談し、可能であれば溝口 教授が意見書の原案をつくり、メンバーで確認して送付するよう進めることとなった。

(4) 本会議の次回以降の開催について

事務局会議メンバーの諸状況を鑑み、次回以降の開催を下記のようにすることとなった。また、メンバーは都合が合わない等の場合は新田に連絡することとなった。

- ・事務局会議（第41回） 2021年12月22日（水）18時30分～（1時間程度）Zoom 利用
- 第42回以降は、毎月第4水曜日18時00分からとする。
- 第42回 2022年1月26日（水）18時00分からを予定。